



Investors Guide 2015

環境技術で世界に貢献する

TSK 月島機械

月島機械が
活躍する
フィールド

砂糖工場

バイオマス
エタノール
製造工場

廃棄物処理
工場

浄水場

製鉄所

食品工場

石油化学
コンビナート

下水
処理場



企業理念

1. わが社は最良の技術をもって産業の発展と環境保全に寄与し、社会に貢献します

1. わが社は市場のニーズを先取りし、最良の商品とサービスを顧客に提供します

1. わが社は創意と活力によって発展し、豊かで働きがいのある企業をめざします



「インベスターズ・ガイド2015」を皆様のお手元へお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。当社は、1905年の創業以来100有余年にわたり、産業の基盤となる装置・プラント設備や、日常生活に欠かせない上下水道設備、さらには環境保全設備など、常に社会とそこに暮らす人々の想いに「技術」をもって応えてまいりました。

しかし当社の事業は多岐にわたることから、ステークホルダーの皆様にとっては事業内容が判りにくい会社とも言われております。この声にお応えするために本「インベスターズガイド」を毎年発刊しております。本ガイドにより、当社事業に対するご理解がより一層深まる一助になれば幸いです。

これからも私たち月島機械グループは、「最良の技術をもって産業の発展と環境保全に寄与し、社会に貢献する」という企業理念のもと、これまでの技術をより進化させていく所存です。また、世界的な流れである地球温暖化防止のために環境技術で世界へ貢献してまいります。

今後とも皆様のより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

月島機械株式会社
代表取締役社長

山田 和考
Kazuhiko Yamada

事業概要／沿革

3

中期経営計画／業績の推移

4

水環境事業（浄水場／下水処理場）

5

水環境事業（ライフサイクルビジネス）

7

水環境事業（環境に優しい下水汚泥の処理と資源化技術）

9

産業事業（化学分野）

11

産業事業（鉄鋼、食品分野）

13

産業事業（廃棄物関連分野）

14

月島機械グループの強み

15

海外ビジネスの拡大

16

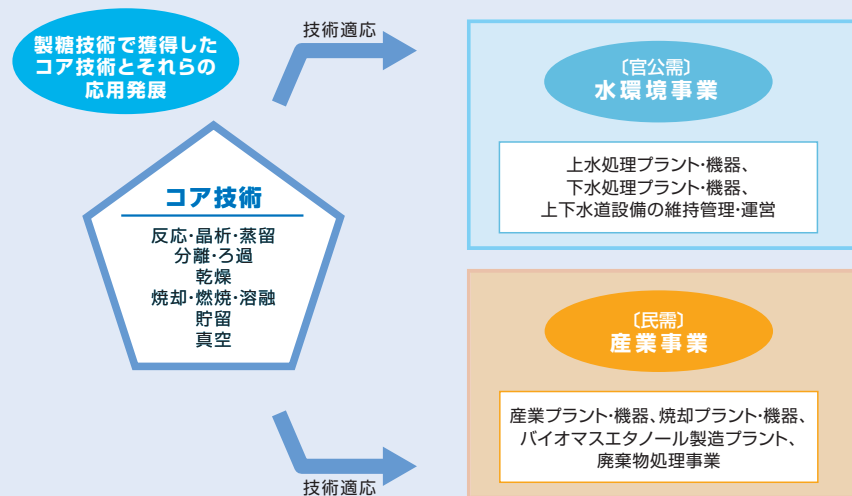
企業情報

18

事業概要

月島機械とは

当社は、製糖機械の設計、製造の過程で培われた「反応・晶析・蒸留・分離・ろ過・乾燥・焼却・燃焼・溶融・貯留・真空」をコア技術として保有し、それらを多種多様な分野に応用、展開することで発展してまいりました。



セグメント	主な事業内容	主な連結対象企業
<p>水環境事業</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 浄水場・下水処理場プラントの建設、水処理機器、汚泥脱水機、汚泥乾燥機等の製造販売 ● 浄水場・下水処理設備の運転・維持管理補修等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 月島テクノメンテサービス株式会社 ● 寒川ウォーターサービス株式会社
<p>産業事業</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 化学、鉄鋼、食品等プラントの建設 ● ろ過機、分離機、乾燥機、ガスホルダ等単体機械の製造販売 ● 廃液燃焼設備、固形廃棄物処理等の環境対策プラントの建設 ● バイオマスエタノール製造プラントの建設 ● 一般・産業廃棄物処理事業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 月島環境エンジニアリング株式会社 ● サンエコサマル株式会社 ● 月島マシンセールス株式会社 ● 大同ケミカルエンジニアリング株式会社 ● BOKELA GmbH ● TSKエンジニアリング(タイランド)株式会社 ● 月島環保機械(北京)有限公司

沿革

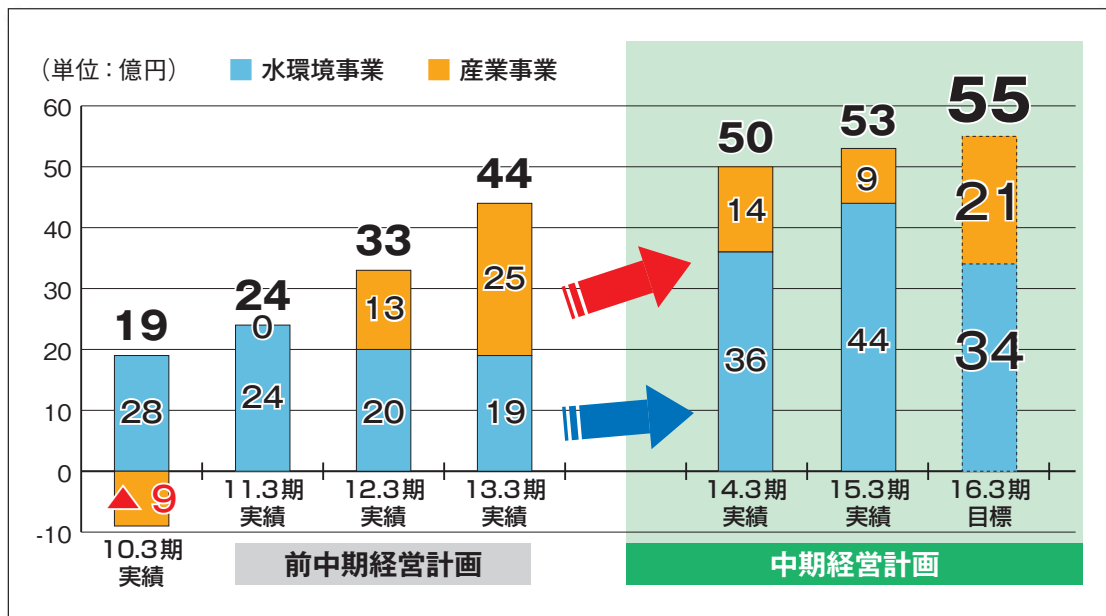
製糖機械製造から始まった100年の歴史

1905年	東京月島機械製作所として創業	1991年	マレーシアに営業拠点として、ツキシマエンジニアリングマレーシアSDN.BHD.を設立	2000年	月島メンテナンス株式会社と月島プラント工事株式会社が合併し、月島テクノメンテサービス株式会社となる。(現 連結子会社)
1917年	株式会社に組織変更して、月島機械株式会社を設立	1993年	タイに営業拠点として、テーエスケーエンジニアリング(タイランド)CO.,LTD.を設立(現 連結子会社)	2005年	焼却関連分野強化のため、日鉄化工機株式会社(現 月島環境エンジニアリング株式会社)の株式を取得(現 連結子会社)
1949年	当社株式を東京証券取引所に上場	1994年	台湾に営業拠点として、テーエスケーエンジニアリング台湾CO.,LTD.を設立	2011年	中国・北京に営業拠点として、月島環保機械(北京)有限公司を設立(現 連結子会社)
1971年	公害防止関連装置の運転管理部門を分離独立し、子会社月島メンテナンス株式会社を設立	1998年	廃棄物処理事業に進出のため、株式会社鹿沼環境美化センター(現 サンエコサマル株式会社)の株式を取得(現 連結子会社)	2014年	大同ケミカルエンジニアリング株式会社の株式を取得(現 連結子会社)
1976年	市川工場を開設			2014年	BOKELA GmbHの株式を取得(現 連結子会社)
1979年	工事部門を分離独立し、子会社月島プラント工事株式会社を設立				
1979年	選別機、摩砕機、金属加工機械、器具の設計、製造、販売部門を分離独立し、月島マシンセールス株式会社を設立				

中期経営計画・業績の推移(連結)

中期経営計画について

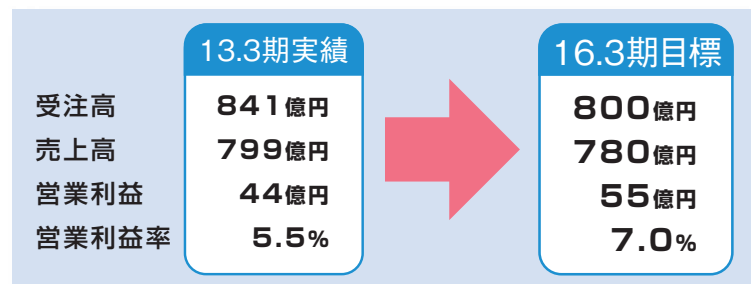
■前中期経営計画における営業利益実績と、現在の中期経営計画における営業利益目標



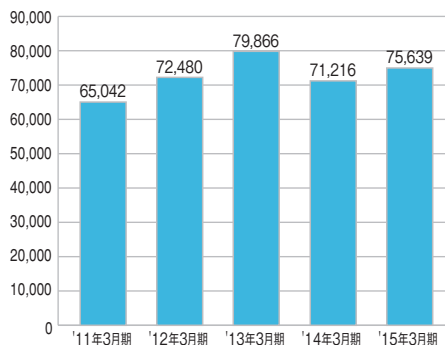
■中期経営計画の重点施策

- ① 環境・エネルギー分野への注力
- ② 海外ビジネスの拡大
- ③ 全社コストダウンの推進

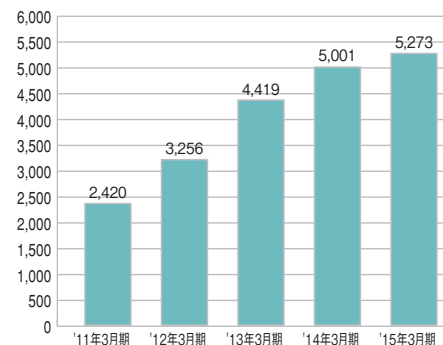
■中期経営計画の目標値



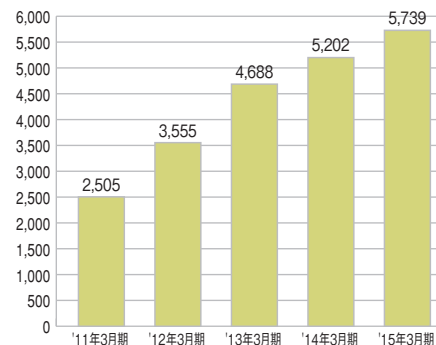
業績の推移(連結)



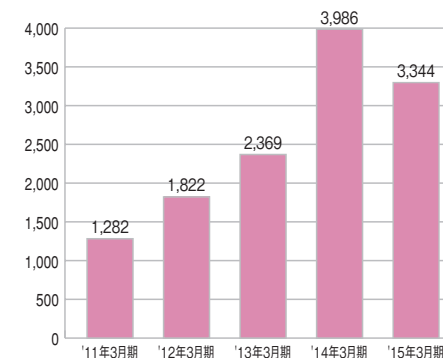
売上高(百万円)



営業利益(百万円)



経常利益(百万円)

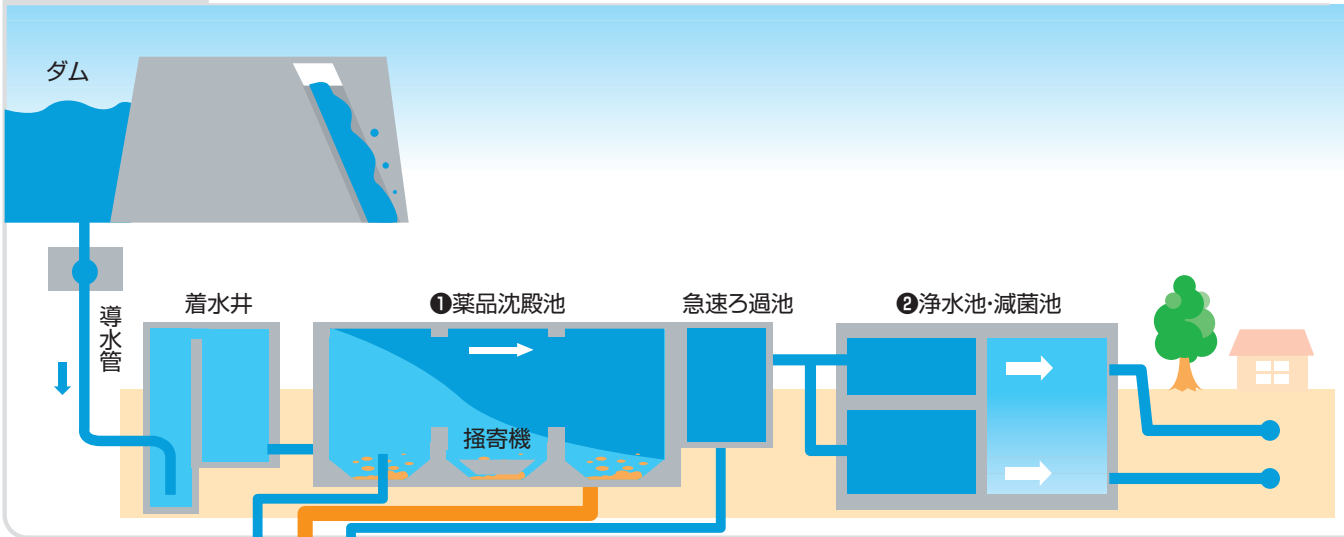


当期純利益(百万円)

水環境事業 浄水場

安全で安心、安定して美味しい、価値ある水を暮らしに供給し続けるために。

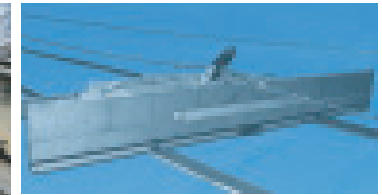
浄水処理設備 浄水場の規模と要求水質に合わせた最適な浄水設備を提案します。



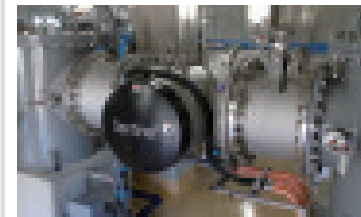
浄水処理設備において活躍する月島機械製品



①沈殿池の泥を掻き寄せる「水没クラリファイヤ」



新型水没クラリファイヤ「コンパクトル」
掻寄能力を向上させつつ、コンパクト化。施工期間も短縮

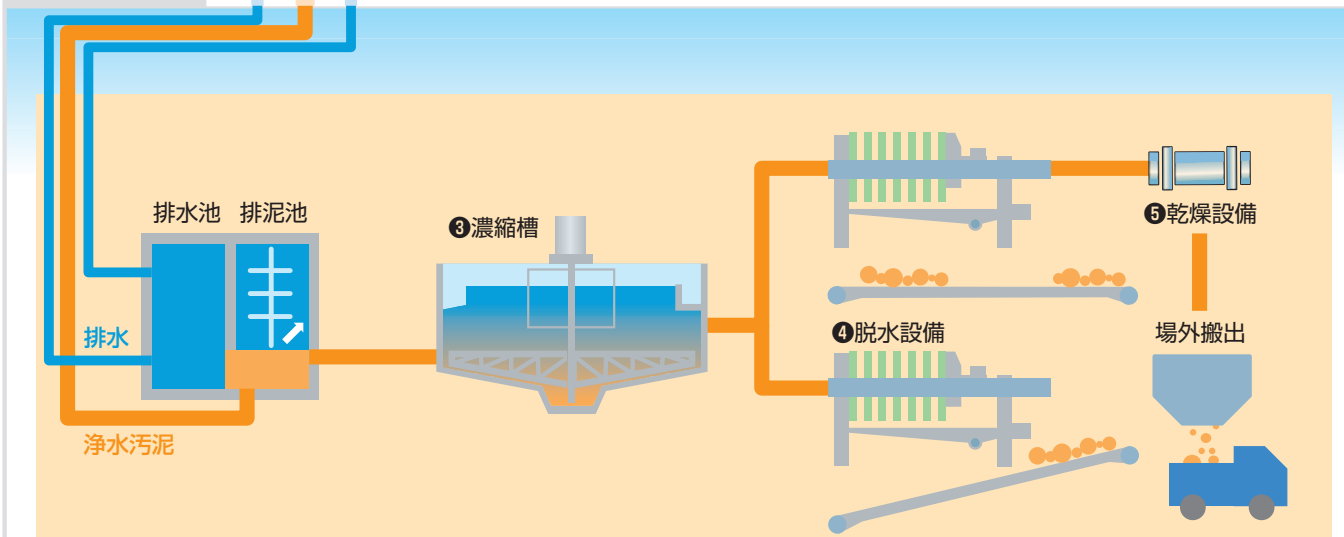


②耐塩素性細菌、ウイルス等を無害化する「紫外線滅菌装置」

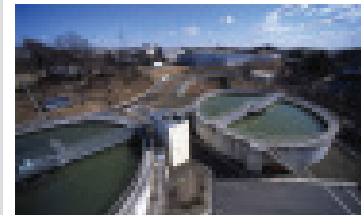


より清澄な水を造る「膜ろ過設備」

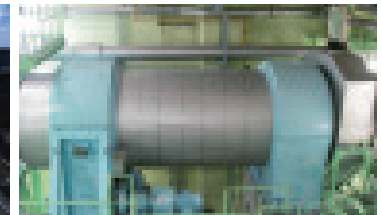
排水処理設備 水づくりの副産物として発生する浄水汚泥。その最適な処理と更なる有効利用を提案します。



排水処理設備において活躍する月島機械製品



③浄水汚泥を濃縮、減容化する「濃縮設備」



⑤脱水した浄水汚泥を乾燥し、園芸用土等へ有効利用する「乾燥設備」



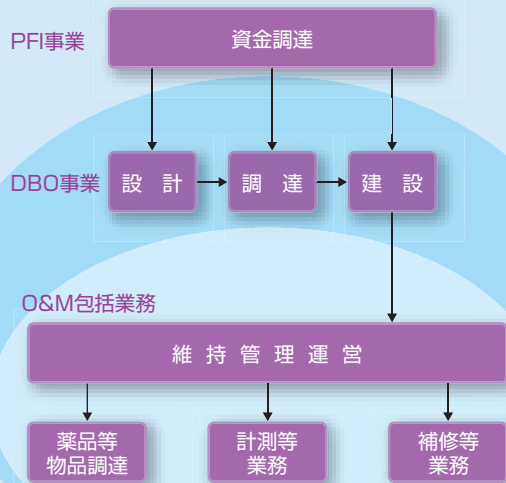
④濃縮した浄水汚泥を脱水し減容化する「加圧脱水機」



水環境事業 ライフサイクルビジネス

月島機械の総合エンジニアリング技術、コアとなる機器の製造技術(自社工場)、維持管理技術(グループ内に維持管理会社を保有)、豊富な実績・ノウハウの融合により、上下水事業におけるライフサイクルコストの最小化と地球環境への負荷を最小限に抑えるビジネスモデルを提案します。

- 月島機械の強み
- 機器の自社製造
 - 豊富なプラント、機器の納入実績
 - システム全体を通じた運営ノウハウの保有



O&M包括業務

南部下水終末処理場およびポンプ場等包括的維持管理業務

発注者：函館市企業局
 事業者：月島テクノメンテサービス(株)
 履行期間：2013年4月～2018年3月

PFI事業

川井浄水場再整備事業

発注者：横浜市水道局
 事業者：ウォーターネクスト横浜(株)
 [メタウォーター(株)、メタウォーターサービス(株)、三菱UFJリース(株)、月島機械(株)、東電工業(株)、東電環境エンジニアリング(株)、東京電力(株)の出資により設立]
 契約期間：2009年4月～2034年3月(建設期間5年、運営期間20年)
 ※当社は「汚泥有効利用管理」を担当

PFI事業

豊田浄水場始め6浄水場排水処理施設整備・運営事業

発注者：愛知県企業庁
 事業者：株式会社アクアサービスみかわ
 [メタウォーター(株)、メタウォーターサービス(株)、月島機械(株)の出資により設立]
 契約期間：2011年4月～2031年3月
 ※当社は一部浄水場の汚泥脱水設備の建設及び維持管理を担当

DBO事業

京都府桂川右岸流域下水道洛西浄化センター下水汚泥燃料化事業

発注者：京都府
 事業者：電源開発(株)・月島機械(株)・日本メンテナンスエンジニアリング(株)・バイオコールドプラントサービス(株) 共同企業体
 契約期間：2013年10月～2037年3月
 (建設期間3年、運営期間20年)

DBM事業(DBM:Design Build Maintenance)

大阪広域水道企業団村野浄水場水道残さ有効利用施設整備維持事業

発注者：大阪広域水道企業団
 事業者：月島機械(株)・大日本土木(株)・月島テクノメンテサービス(株) 特定建設工事共同企業体
 契約期間：2013年3月～2030年3月
 (建設期間2年、運営期間15年)

PFI事業

大阪市平野下水処理場汚泥固形燃料化事業

発注者：大阪市
 事業者：(株)バイオコールド大阪平野
 [電源開発(株)、月島機械(株)、バイオコールドプラントサービス(株)の出資により設立]
 契約期間：2011年4月～2034年3月(建設期間3年、運営期間20年)

DBO事業

熊本市南部浄化センター下水汚泥固形燃料化事業

発注者：熊本市
 事業者：(株)バイオコールド熊本南部
 [電源開発(株)、九州電力(株)、月島機械(株)、月島テクノメンテサービス(株)、バイオコールドプラントサービス(株)の出資により設立]
 契約期間：2011年3月～2033年3月(建設期間2年、運営期間20年)

DBO事業

広島市西部水資源再生センター下水汚泥燃料化事業

発注者：広島市
 事業者：(株)バイオコールド広島西部
 [電源開発(株)、月島機械(株)メタウォーター(株)月島テクノメンテサービス(株)バイオコールドプラントサービス(株)の出資により設立]
 契約期間：2009年3月～2032年3月(建設期間3年、運営期間20年)



ライフサイクルビジネスにおける各種ビジネスモデル

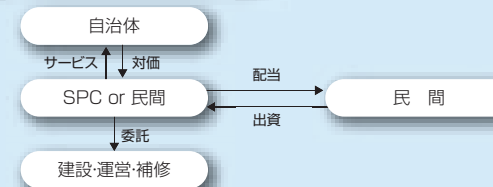
月島機械のライフサイクルビジネスは、お客様の多様なニーズに最適なビジネスモデルで対応致します。

PFI (Private Finance Initiative)



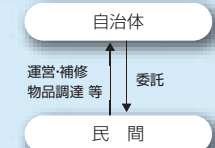
民間事業者が資金調達から設計、調達、建設、維持管理運営事業まで一括してサービスを提供します。多くは複数企業の出資によるSPC(特定目的会社)を設立して事業を行います。

DBO (Design Build Operate)



DBOはPFIと類似した形態ですが、民間事業者による資金調達でなく、公共側が資金調達します。

O&M (Operation & Maintenance) 包括業務



維持管理の包括委託、複数年委託で事業の効率化を実現します。

PFI事業

北総浄水場排水処理施設設備更新等事業

発注者：千葉県水道局
 事業者：テクノクリーン北総(株)
 [メタウォーター(株)、メタウォーターサービス(株)、大日本土木(株)、月島機械(株)、三菱UFJリース(株)の出資により設立]
 契約期間：2010年4月～2031年3月(建設期間4年、運営期間20年)
 ※当社は「汚泥有効利用管理」を担当



O&M包括業務

千葉市南部浄化センター等包括的維持管理業務

発注者：千葉市
 事業者：月島テクノメンテサービス(株)
 履行期間：2014年4月～2019年3月(5年間)

PFI事業

横浜市南部汚泥資源化センター下水汚泥燃料化事業

発注者：横浜市
 事業者：(株)バイオコール横浜南部
 [電源開発(株)、月島機械(株)、月島テクノメンテサービス(株)、バイオコールプラントサービス(株)の出資により設立]
 契約期間：2012年7月～2036年3月(建設期間4年、運営期間20年)

O&M包括業務

横浜市南部汚泥資源化センター包括的管理業務

発注者：横浜市
 事業者：月島テクノメンテサービス(株)
 履行期間：2011年4月～2016年3月(5年間)

PFI事業

寒川浄水場排水処理施設特定事業

発注者：神奈川県企業庁
 事業者：寒川ウォーターサービス(株)
 [月島機械(株)、月島テクノメンテサービス(株)、メタウォーター(株)、電源開発(株)、日立造船(株)の出資により設立]
 契約期間：2003年12月～2026年3月(建設期間3年、運営期間20年)



PFI事業

犬山市浄水場始め2浄水場

排水処理設備及び常用発電等施設整備・運営事業

発注者：愛知県企業庁
 事業者：尾張ウォーター&エナジー(株)
 [月島機械(株)、三菱電機(株)、月島テクノメンテサービス(株)の出資により設立]
 契約期間：2014年12月～2037年3月(建設期間2年、運営期間20年)



犬山浄水場



尾張西部浄水場

ライフサイクルビジネス：機器・設備の提供または投資に加え、運転管理等のサービス、副産物の売買などを包括的に複数年にわたって受託または自ら実施する業務の総称。PFI、DBO、O&M包括業務、FIT発電事業などを含む。

O&M包括業務：ライフサイクルビジネスの一種。委託範囲の拡大(維持管理のほか、補修やユーティリティ調達も対象)、委託期間の長期化(単年度から、複数年契約へ)に伴い、受託者には創意工夫の余地が生まれる。

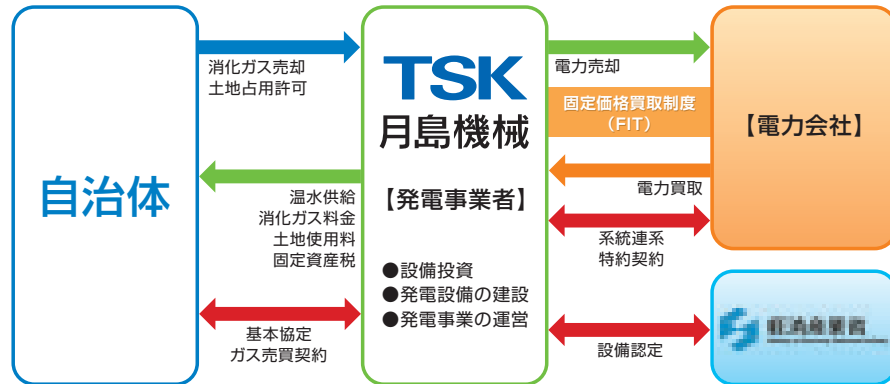
結果、お客様に効率的で質の高いサービスを提供できる。

水環境事業 環境に優しい下水汚泥の処理と資源化技術

■FIT(固定価格買取制度)を活用した発電事業

下水から発生するバイオガスを資源とした、長期・安定的な発電事業です。

●環境に配慮しながら自治体が新たな収入を得られる「民設民営」の事業の仕組み



特長1 民間資金・ノウハウの活用

自治体は**事業資金が不要**、**資産の所有も不要**

特長2 温室効果ガス削減

再生可能エネルギーの**利用促進・拡大**

特長3 長期・安定事業

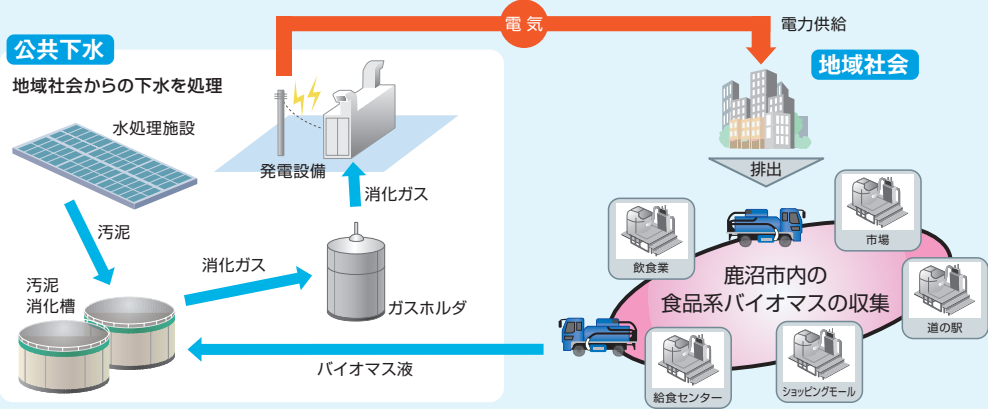
20年間にわたり売電単価が固定であり、**バイオガスを活用した天候に左右されない安定した発電事業**

事業契約実績



Pick Up ③鹿沼市と月島機械グループ 官民連携による「創エネルギー・廃棄物処理事業」

鹿沼市と月島機械グループが共同で鹿沼市の廃棄物（し尿汚泥、食品系バイオマスなど）を下水汚泥とともに効率的に処理し、かつ消化ガス（バイオガス）発電により再生可能エネルギーを創出する画期的な「官民共同事業」です。



NO. 発電場所	発電設備容量	想定年間発電量	電力消費量換算	発電事業期間
① 大村浄水管理センター内	250kW	190万kWh	※ 500世帯	2014年7月～20年間(予定) 事業運営中
② 宮崎処理場内	275kW	210万kWh	※ 580世帯	2015年4月～20年間(予定) 事業運営中
③ 黒川終末処理場内	250kW	160万kWh	※ 450世帯	2015年6月～20年間(予定)
④ 蘭東下水処理場内	103kW	42万kWh	※ 120世帯	2016年4月～20年間(予定)
⑤ 中部水処理センター内	1,095kW	710万kWh	※ 2,000世帯	2016年4月～20年間(予定)
⑥ 藤枝市浄化センター内	253kW	140万kWh	※ 390世帯	2018年4月～20年間(予定)
⑦ 八重田浄化センター内	750kW	440万kWh	※ 1,200世帯	2015年12月～20年間(予定)
⑧ 大野下水処理場内	750kW	550万kWh	※ 1,500世帯	2017年4月～20年間(予定)
海老江下水処理場内	700kW	510万kWh	※ 1,400世帯	
放出下水処理場内	1,320kW	910万kWh	※ 2,500世帯	
住之江下水処理場内	1,320kW	610万kWh	※ 1,700世帯	
8件合計	7,066kW	4,402万kWh	12,140世帯相当	

※一般家庭の電力消費量は1世帯あたり年3,600kWとして計算。

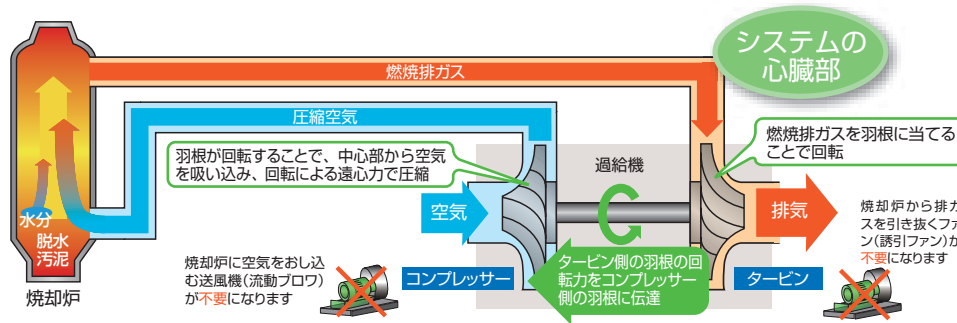
FIT(Feed-in Tariff:再生可能エネルギー固定価格買取制度):太陽光、バイオマス等、再生可能エネルギーによって発電した電力を、電力事業者に、一定期間、一定の価格で買い取るよう義務付けることで、再生可能エネルギー導入拡大を推進するもの。本制度を活用した場合、消化ガス発電による発電電力は、事業開始後20年間にわたり経済産業省の認定を受けた単価で売電を行うことができる。

水環境事業 環境に優しい下水汚泥の処理と資源化技術

■次世代型焼却システム

シンプルな構造と高性能を実現した省エネルギー型の焼却システムです。

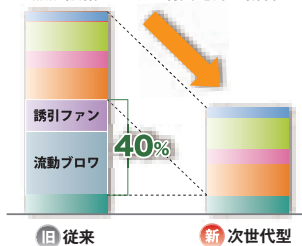
●過給機(ターボチャージャー)を用いた新しい汚泥焼却システムの仕組み



特長1 消費電力40%削減

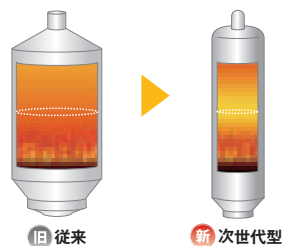
流動ブロウと誘引ファンが要らず、消費電力40%削減が可能です。

■ 燃焼設備における消費電力の割合



特長2 燃料使用量10%削減

加圧下で燃焼することで炉がコンパクトになり補助燃料が削減され、燃費10%削減が可能です。



特長3 N₂O排出量50%削減

圧力下の燃焼により、従来の流動炉に比べてN₂Oの排出量が半減します。



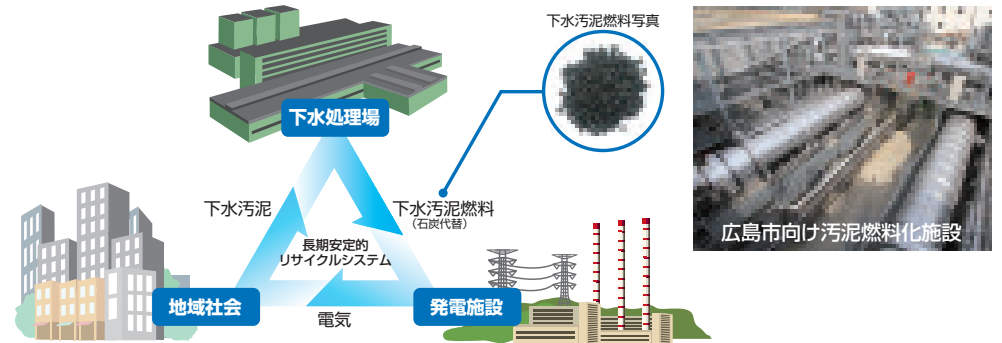
受注実績

- ① 東京都(葛西水再生センター)向け: 300ton/日 稼働中
- ② 神奈川県(右岸処理場)向け: 100ton/日 稼働中
- ③ 大阪府(中央水みらいセンター)向け: 100ton/日 建設中 2016年3月~稼働予定
- ④ 甲府市(甲府市浄化センター)向け: 60ton/日 建設中 2015年8月~稼働予定
- ⑤ 東京都(みやぎ水再生センター)向け: 300ton/日 建設中 2017年4月~稼働予定

■下水汚泥燃料化システム

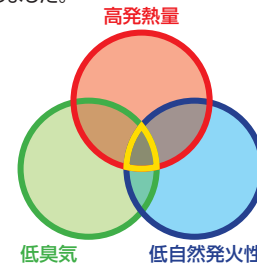
下水汚泥を資源化、石炭代替燃料に転換。長期・安定的なりサイクル事業です。

●資源循環型の長期安定的な下水汚泥燃料化システム



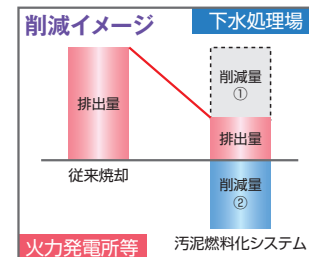
特長1 低温炭化技術

250~350℃の低温で炭化することで従来の炭化手法から燃料価値を高めました。



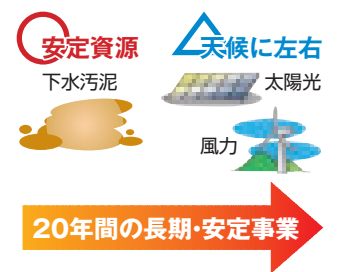
特長2 温室効果ガス削減

システムの導入で下水処理側と燃料利用側の両方で温室効果ガスを削減します。



特長3 長期・安定事業

下水汚泥は、公共下水から安定的に排出されるため、長期的な事業に活用できるバイオマス資源です。



受注実績

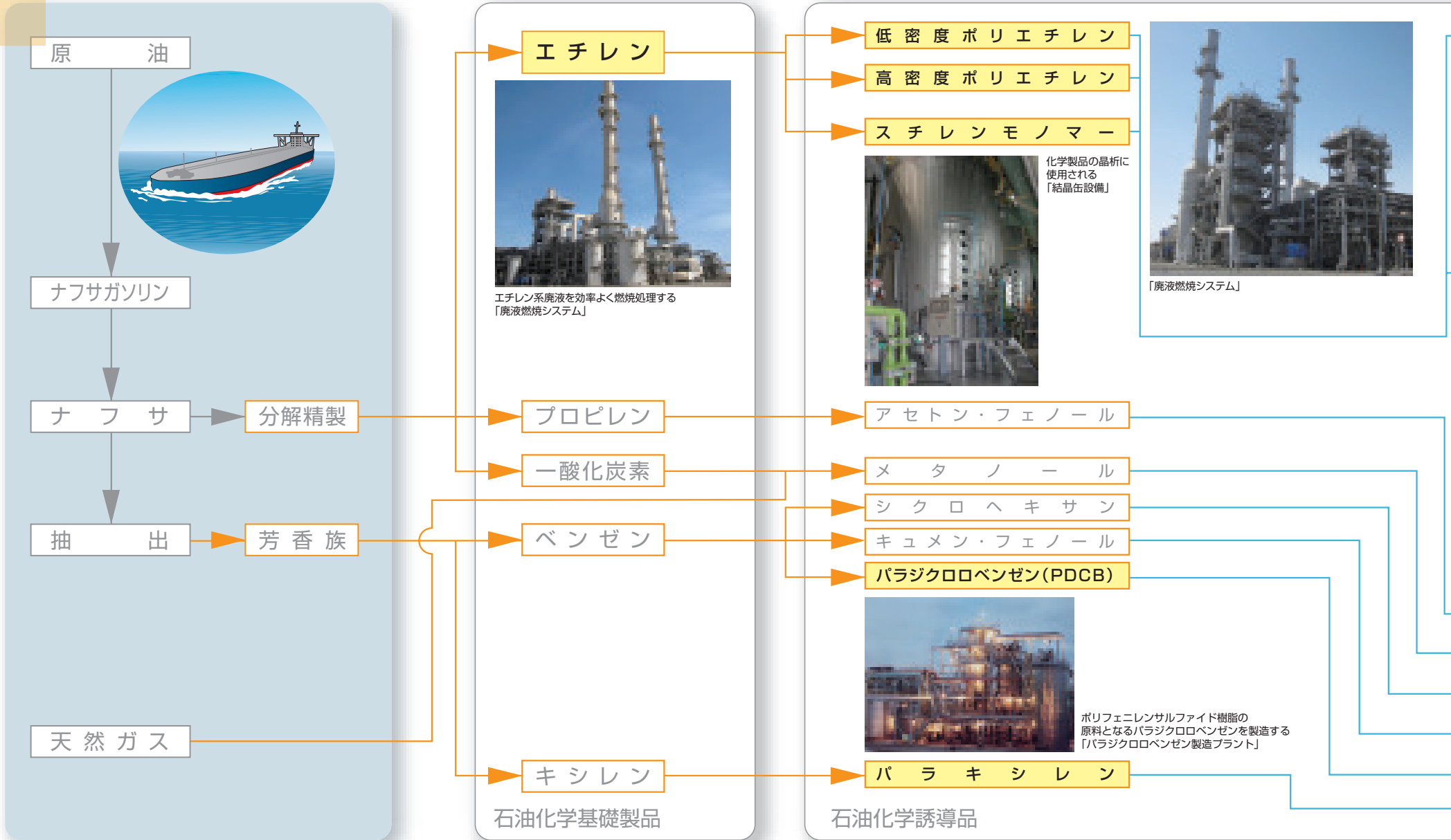
- ① 広島市(西部水資源再生センター)向け: 50ton/日×2系列 事業運営中
- ② 熊本市(南部浄化センター)向け: 50ton/日 事業運営中
- ③ 大阪市(平野処理場)向け: 150ton/日 事業運営中
- ④ 横浜市(南部汚泥資源化センター)向け: 150ton/日 建設中 2016年4月~運営開始予定
- ⑤ 京都府(洛西浄化センター)向け: 50ton/日 建設中 2017年4月~運営開始予定

N₂O(一酸化二窒素): 代表的な温室効果ガスの1つであり、下水汚泥中に含まれる窒素に由来。地球温暖化係数はCO₂(二酸化炭素)の310倍であり、下水汚泥の燃焼過程で発生する。下水道事業においては、その削減が重要視されている。



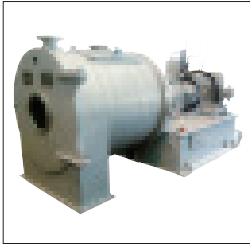
産業事業 石油化学／一般化学分野

生活用品や自動車関連部品の原料となる化学製品の製造ラインおよび製造ラインから排出される廃液処理プロセスに当社のエンジニアリング技術及び各種機器・装置が活用されています。

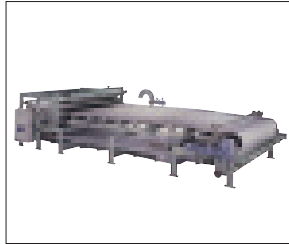


Steam Tube Dryer[STD]：月島機械が得意とする大型乾燥機の代表機種。石油化学、鉄鋼、食品など幅広い分野で使用され、特にポリエステル繊維の原料であるテレフタル酸プラントでは世界の約5割のシェアを誇る。
 テレフタル酸[PTA:Purified Terephthalic Acid]：ポリエステル繊維の原料で、ペットボトルなどに使われている。

A B S 樹脂



300種以上の物質に対して適用実績のある「EW遠心分離機」



結晶缶設備との組み合わせにより高純度樹脂製造プラントの核となる「水平ベルトフィルター」



水平ベルトフィルターに圧搾・ブロー機構を追加、含水率を大幅に低減した「圧搾ブロー脱水機」



優れた固液分離を実現する「デカンタ型遠心分離機」



ポリカーボネートの原料であるBPAを製造する「BPA製造プラント」

ビスフェノールA (BPA)

ホルムアルデヒド

カプロラクタム

ビスフェノールA (BPA)

ポリフェニレンサルファイド (PPS)



ポリアセタールの製造に使用される「STD」

ポリアセタール (POM)



ポリカーボネートの製造に使用される「STD」

ポリカーボネート (PC)

ポリカーボネート (PC)



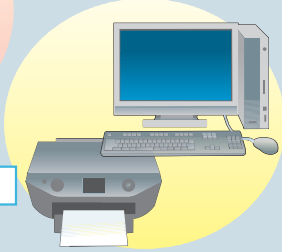
テレフタル酸の製造に使用される「STD」

テレフタル酸 (PTA)

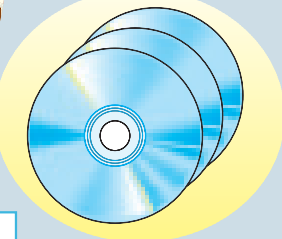
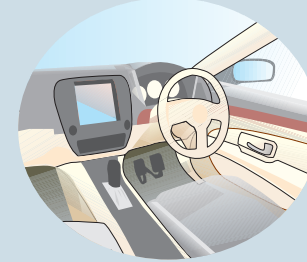


- ヘッドライト
- ドアハンドル
- フェンダー
- ドアミラー

自動車部品、電気製品



- 計器盤
- ドアパネル
- インストルメントパネル



ナイロン

自動車部品等

電子製品

- ペットボトル
- Yシャツ

ポリエステル繊維 (ペットボトル・シャツ等)



用途・製品

ビスフェノールA [BPA]：BPAの約7割がポリカーボネート樹脂の原料として使用されている。近年ポリカーボネートの需要拡大にともないBPAも好調な伸びを示している。

ポリアセタール樹脂 [POM]：優れた機械特性、耐摩擦・摩耗特性に加え、成形加工の容易さから自動車、電気・電子、OA機器等の主に機構部品材料として使用される。アジア地域における自動車生産台数の増加により自動車用途の比率が高まっている。

ポリカーボネート樹脂 [PC]：主原料がBPA(ビスフェノールA)であり、透明性、耐熱性、寸法安定性に優れた樹脂であり、広範囲の産業用途に需要が拡大している。

主な用途は、家庭電化製品やOA機器など多くの日用品にわたり、需要はここ数年、光学用途や自動車用途などへの広がりもあって高い伸びを示す。



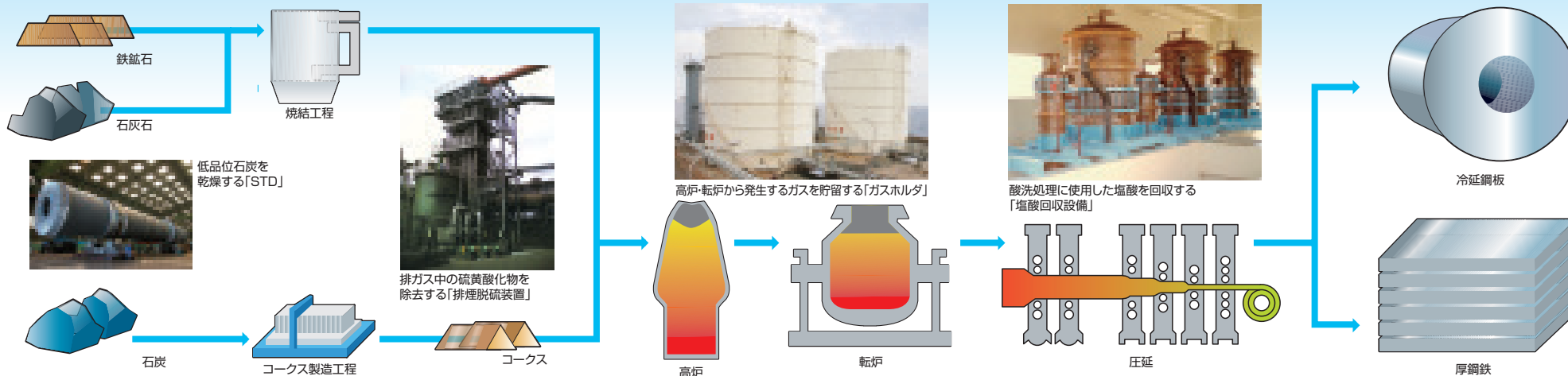
産業事業 鉄鋼分野、食品分野

幅広い分野で活躍する月島機械のエンジニアリング技術および主要生産機器。

鉄 鋼

鉄鋼分野で活躍する月島機械のエンジニアリング技術および主要生産機器

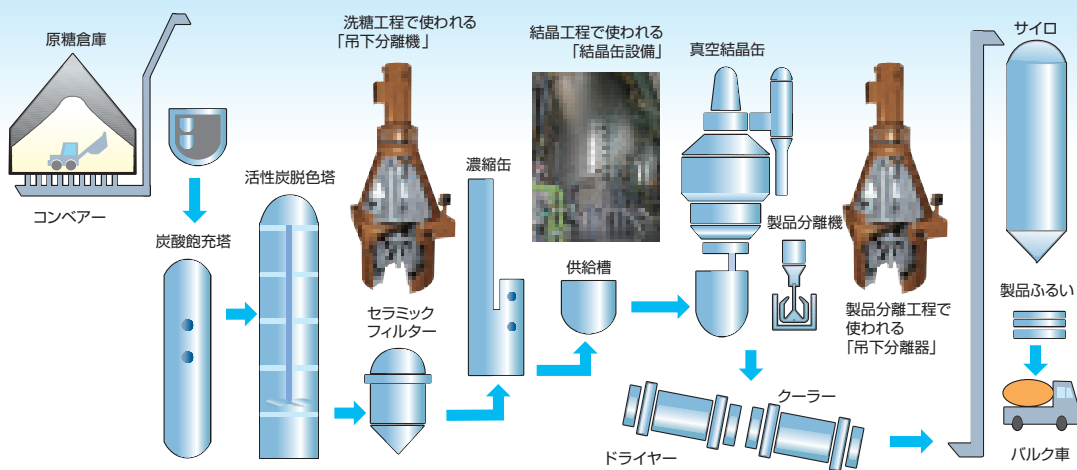
製鉄業に欠かせない原料炭の加工から、焼結工程から発生する排煙の処理、高炉等から発生する有機ガスの貯留・再利用まで、当社のエンジニアリング技術が活用されています。



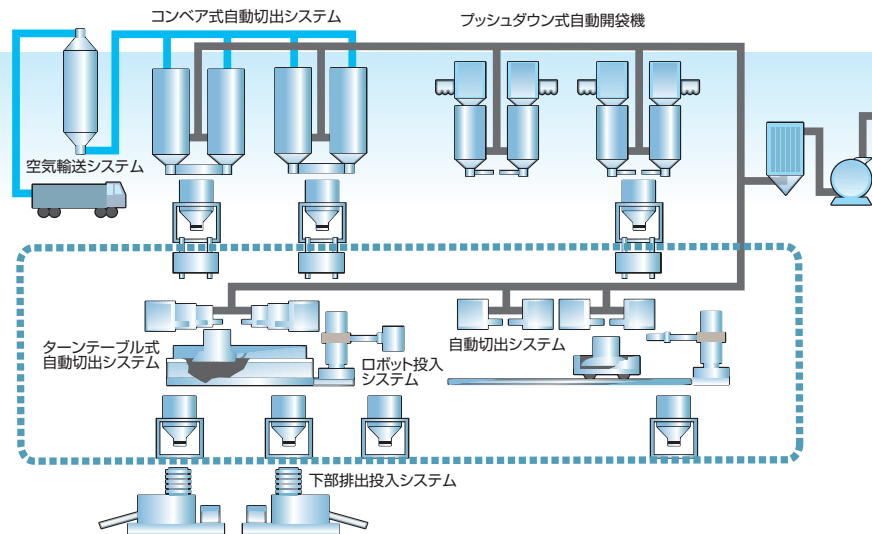
食 品

砂糖分野

創業時より精製糖プロセスで培った固液分離技術を、幅広い食品業界に展開しています。



食品 及び FA関連分野



石炭乾燥：低品位石炭を調湿、乾燥させることで燃料としてのカロリーを高め、燃料の効率を高める手段。石油および石炭価格高騰の中、比較的安価な低品位石炭を乾燥し、石炭消費にかかる費用削減を図るユーザーが増えている。ユーザー例としては鉄鋼業等が挙げられる。
 製鉄所のガスホルダ：高炉—貫製鉄所では鉄が作られる過程で種々の副生ガスが発生する。これら副生ガスは混合された状態で製鉄所内の自家発電所、焼結工程、製鋼工程等で燃料として使用される。
 ガスホルダは副生ガスの貯留設備として、製鉄所の省エネ、省資源、環境対策に大きく貢献している。



産業事業 廃棄物関連分野

廃棄物の効率処理とそこから発生する廃熱、ガス等をエネルギーとして再利用する技術。自らも廃棄物処理事業を展開し、広範で高度な処理技術、処理サービスを展開しています。

廃液処理設備

廃液燃焼システム

産業プラントから排出される廃液を効率的に燃焼処理する「廃液燃焼システム」。

石油化学プラント以外でも広範な用途に使用されています。



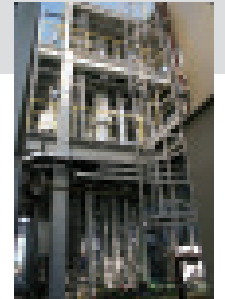
塩酸回収設備

塩素系廃液等から工業用塩酸、塩化ビニルモノマー製造用原料としての塩化水素ガスを回収する「塩酸回収設備」



その他 酸回収設備

硫酸、硝酸、フッ酸、ホウ酸等の「酸回収設備」

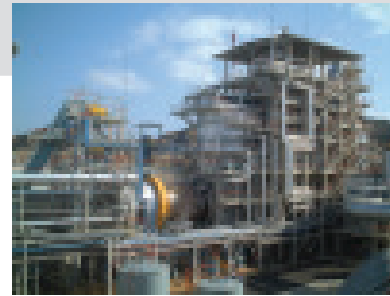


固形廃棄物処理設備

溶融キルンシステム

多様な廃棄物の投入・溶融が可能な「溶融キルンシステム」。

シュレッターダストからの有価物回収などのマテリアルリサイクルや、廃熱ボイラーを設置することにより排ガスから熱回収を行えるため、サーマルリサイクルシステム(発電等)によるエネルギーの有効利用ができます。



流動焼却システム

高効率かつ多様な廃棄物を燃焼処理する「流動焼却システム」



一般／産業廃棄物処理事業(連結会社：サンエコサーマル(株)にて運営)

サンエコサーマル(株)では、廃棄物の減量・無害化のため、安定した焼却処理を行い汚染物質排出の予防に万全を期し環境汚染防止に努めています。

またごみの焼却熱を熱源にして、廃熱ボイラーで蒸気を発生し、タービンを稼働させ発電しています。

最大発電能力は2,400kW、そのうち1,000kWを施設内で使用し、最大で1,400kWを電力会社へ売電しています。お客様からお預かりした廃棄物は熱エネルギーに変換され、電力として再利用されています。

また、2014年10月から太陽光発電施設「サンエコソーラーファーム」が稼働開始。複合的な廃棄物処理とともに地域の再生可能エネルギー活用をすすめています。



「産業廃棄物焼却設備」



「一般廃棄物焼却設備」



太陽光発電施設「サンエコソーラーファーム」

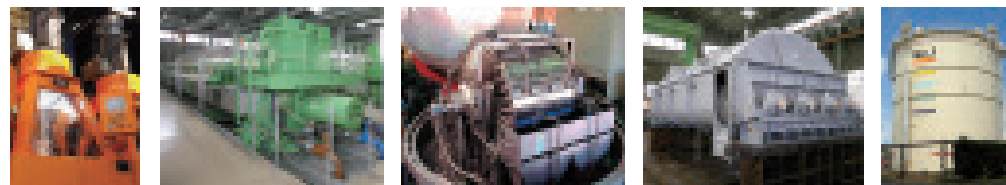
月島機械グループの強み — コア技術 × バリューチェーン

当社は、創業時の製糖分野で培った固液分離技術（固体と液体を分離する技術）を、その後製塩、繊維、化学、上下水道プラントなどに応用しながら「コア技術」を磨き続けてきました。またその事業活動の中で、開発・設計から製造、維持管理・補修にいたるまで、各種インフラを支えるために必要な「バリューチェーン」を保有するに至りました。

月島機械グループの強みは、「コア技術」と「バリューチェーン」を掛け合わせることで、さまざまなソリューション提案ができること。「モノづくりの力」「エンジニアリングの力」「事業運営の力」を発揮し、お客様のさまざまなニーズに応じています。



【単体機器】モノづくりの力



分離 — 吊下分離機 る過 — 加圧脱水機 る過 — 回転式加圧ろ過機 乾燥 — 汚泥乾燥機 貯留 — ガスホルダ

当社は分離、ろ過、蒸留、乾燥、焼却、貯留といった単位操作技術をコア技術として蓄積し、各種産業機械や環境装置を設計、製造してきました。このコア技術が、最適な機器の提供につながっています。

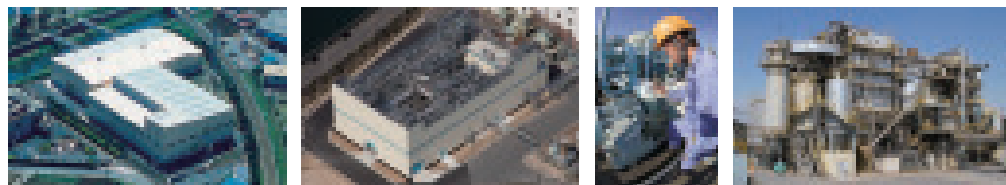
【EPC】エンジニアリングの力



インドネシア・アルミナ製造設備の建設 サウジアラビア・廃液燃焼システムの建設 国内・次世代型焼却システムの建設

多様な分野で稼動する各種プラント設備は、コア技術の組み合わせで構築されます。月島機械グループは、それらのコア技術を熟知していることで全体を最適化。オーダーメイドのエンジニアリングでプラントEPC事業を展開しています。

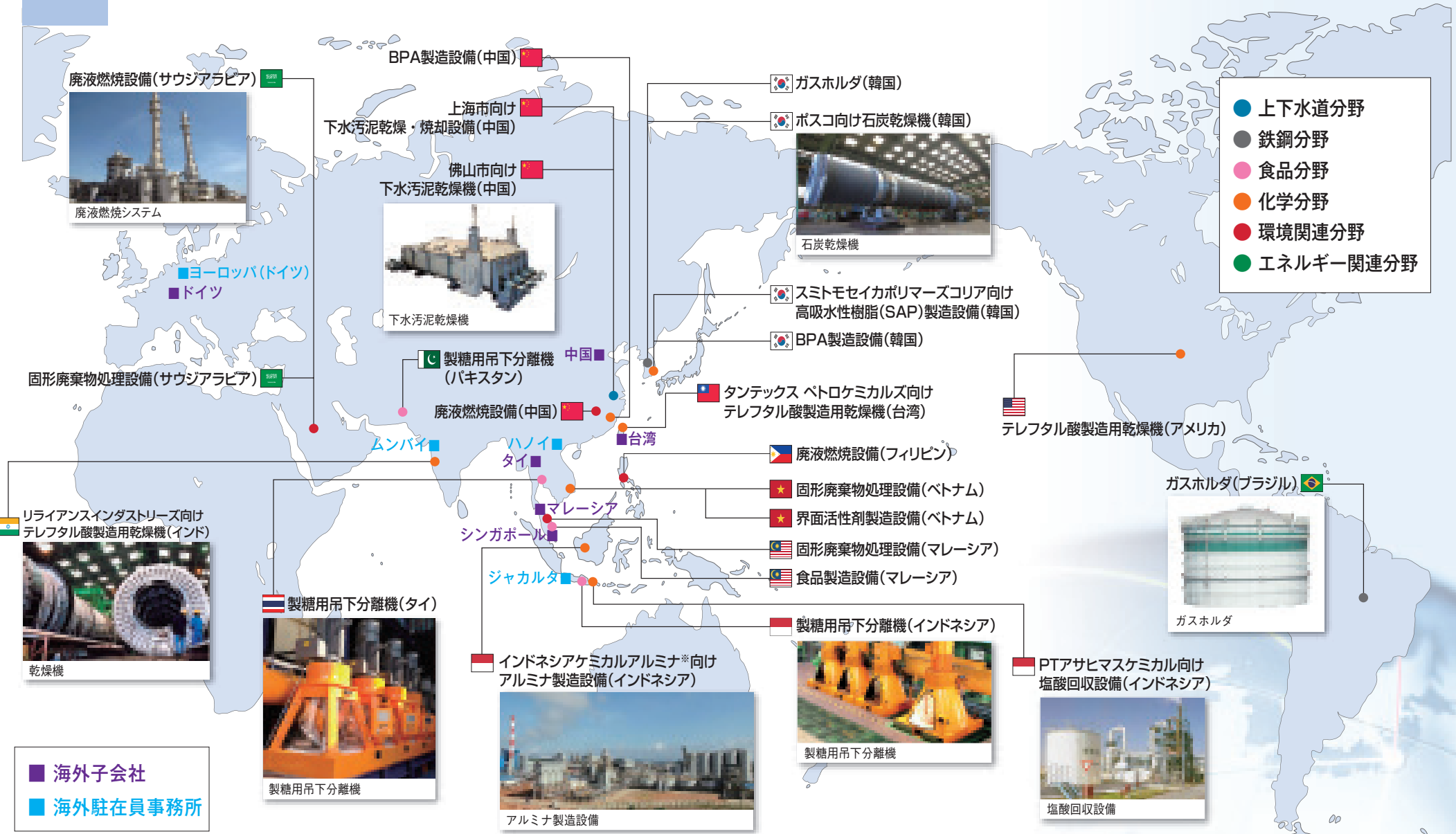
事業運営の力



寒川浄水場排水処理PFI事業 広島市西部水資源再生センター下水汚泥燃料化DBO事業 維持管理の豊富な実績 廃棄物処理・サーマル発電事業

社会インフラ、産業インフラにおいては、より効率的な事業運営が求められています。月島機械グループは、プラント設備の運転管理や補修も手がけることで、事業の安定運営ノウハウを蓄積してきました。それらのノウハウを活かし、上下水道インフラのPFI・DBO事業の運営や、一般・産業廃棄物処理と発電の事業運営、FITを活用した発電事業などを行い、自らが事業者としてビジネスを展開しています。

海外ビジネスの拡大 (11.3期～) の成果、主な受注案件



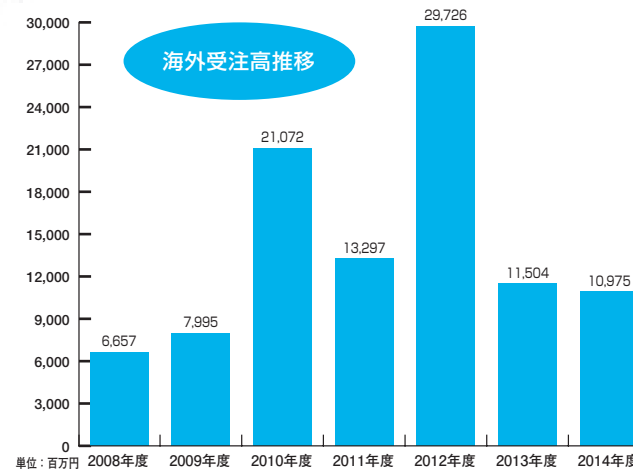
※インドネシアケミカルアルミナ: インドネシア国営鉱山会社と昭和電工株式会社との合併会社

グローバルな販売／納入実績 当社は100年に及ぶ歴史の中で、常にお客様のニーズにお応えする製品を提供し産業の発展に貢献してまいりました。その貢献は日本国内にとどまらず、世界各国への輸出という形でも貢献しております。



当社グループの海外主力製品

- ▼ デカンタ(遠心分離機)
- ◆ 水平ベルトフィルタ
- ♥ EW遠心分離機
- ▲ ビスフェノールA(BPA)プラント
- ◇ 結晶缶
- ▶ ろ過機(アルミナ・石炭等資源向け)
- ★ 塩酸回収設備
- 廃液燃焼システム
- スチームチューブドライヤ(STD)
- ♣ インクラインドディスクドライヤ(IDD)
- ↑ 吊下分離機
- ◀ ろ過機(テレフタル酸等化学向け)



企業情報

会社概要

(2015年3月31日現在)

商号	月島機械株式会社 TSUKISHIMA KIKAI CO., LTD.
代表取締役社長	山田 和彦
創業・設立	1905年(明治38年)8月創業
所在地	東京都中央区晴海三丁目5番1号
資本金	6,646百万円
発行済株式総数	45,625,800株
1単元の株式数	100株
従業員数	2,175名(連結)
	689名(単体)
証券コード	6332



連結子会社・持分法適用会社

(2015年4月30日現在)

連結子会社(国内) 8社

- 月島テクノメンテサービス株式会社
- 月島環境エンジニアリング株式会社
- サンエコサマル株式会社
- 月島ビジネスサポート株式会社
- 月島マシンセールス株式会社
- 大同ケミカルエンジニアリング株式会社※1
- 寒川ウォーターサービス株式会社
- 尾張ウォーター&エナジー株式会社※2

※1 大同ケミカルエンジニアリング株式会社および BOKELA GmbHは、16年3月期から連結子会社化

※2 尾張ウォーター&エナジー株式会社は、PFI施設の建設終了後の2017年から営業開始予定

連結子会社(海外) 3社

- 月島環保機械(北京)有限公司(中国)
- TSKエンジニアリングタイランド株式会社(タイ)
- BOKELA GmbH(ドイツ)※1

持分法適用会社(国内) 6社

- 江戸川ウォーターサービス株式会社
- バイオコールプラントサービス株式会社
- 株式会社バイオコール広島南部
- 株式会社バイオコール熊本南部
- 株式会社バイオコール大阪平野
- ハイブリッドケミカル株式会社



事業所・駐在員事務所

事業所(国内) 11ヶ所

- 本 社
- 東京支社
- 大阪支社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 横浜支店
- 名古屋支店
- 広島支店
- 福岡支店
- 沖縄営業所
- 市川事業所(工場・研究所)

駐在員事務所(海外) 4ヶ所

- TSKジャカルタ(インドネシア)
- TSKハノイ(ベトナム)
- TSKムンバイ(インド)
- TSKヨーロッパ(ドイツ)



TSK 月島機械株式会社

〔証券コード ▶ 6332 (東証一部: 機械)〕

お問い合わせ先

月島機械株式会社 経営企画部 (IR担当)

〒104-0053 東京都中央区晴海3丁目5番1号

TEL: 03-5560-6513 FAX: 03-5560-6501

URL: <http://www.tsk-g.co.jp>